

(様式)

令和4年度 三つの方針（スクール・ポリシー）

学校名	富山県立富山高等学校
-----	------------

1 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

自学・自楽する18歳へ

社会や地球の将来が、自分の将来と重なっていることを認識し、分断の超克や社会幸福の実現といった「発展的未来」に貢献するため、次の資質・能力の育成を目指す。

- ・3年間の学びを通して得た教養と自己理解によって、次のステージでも能力を継続的に伸長させ、躍動できる。
- ・自らの疑問・違和感や社会から託された課題の解決法を、事実に基づく合理的思索と、周囲との協働によって探究できる。
- ・「慎重」と「敢為」の止揚を体現し、社会風潮に左右されない価値基準を備え、失敗の蓄積の上に、自身の最適解を見定められる。

2 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

慎重自ら持し 敢為事に当る

校訓「慎重敢為」は、富山高校生が高校生活や人生を充実させるための精神的支柱となる。

「慎重」とは思慮を欠かさぬ姿勢であり、その深化のために教科横断的な思考力・創造力を錬磨する。「敢為」は失敗を恐れず挑戦する姿勢であり、その深化のために、批判的思考力を涵養し、まず挑戦し、その結果を内省する。

「慎重」と「敢為」は止揚されるのであって、この姿勢は、富山高校生が「全体・個人」「学習・遊戯」「生徒・教師」といった二項対立に遭遇した時、すべからく発揮される。

こうした富山高校の学びの環境は、富山高校生と教職員の協働によって初めて実現を見るのであって、富山高校生は、授業・ホームルーム活動・学校行事・部活動・清掃活動等への参画を通してその自主性を高め、教職員は、富山高校生が基礎・基本を身につける教育課程を編成するとともに、学問の世界の入り口に立つ挑戦の機会を保証する。

3 入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

学びたきものつどう

富山高校は、「我らは学ぶに場所なく、遊学に学資なく、進退これ窮まる」という、中等教育を望む生徒の提起により、「富山県中学校」として創設された歴史をもつ。この「学びたきものつどう」の伝統を継承し発展させる志のある、以下の生徒の入学を、心から歓迎する。

- ・「学習」の段階から、「学問」の世界へ羽ばたきたいと考える者
- ・日常の疑問や違和感を大切にし、知りたい、理解したいという思いに繋げようとする者
- ・学友や教職員の助言・支援に真摯に向き合う、しなやかな感性を高めようとする者